

私の留学体験記

広島県立安古市高等学校 2年 上門 美早紀 (かみかど みさき)

留学期間 平成30年7月26日～平成30年8月11日 (17日間)

留学先 セントジョーンズグラマースクール (アデレード, オーストラリア)

私は今年の夏、アデレードへ短期留学をしました。この留学を通して学んだことはたくさんあり、大きな心境の変化がありました。

国が違うとももちろん文化や習慣、考え方もちがいます。私が印象に残っていることは、みんなスポーツが大好きだということです。初対面の人と会うとまず「何のスポーツをしているの？」とスポーツの話題から始まるのです。街にはいたるところにフットボール場やネットボール場、サッカー場がありました。特にフットボールは老若男女に絶大な人気がありました。

姉妹校の St John's Grammar School は自由な校風で生徒の意見をよく尊重していると思いました。2時間目と3時間目の間のリセスという休憩時間に軽食を取ります。また、多国籍の生徒が在校しているので国際交流が盛んです。私達の滞在中に「海洋プラスチックごみ」について6カ国参加して話し合うパネル・ディスカッションが行われました。私は日本人代表として参加し、日本の政府の取り組みや私達がこれからすべきことについて話しました。そのとき私はこの問題について深い知識がありませんでした。様々な国の取り組みを聞いて、この問題の深刻さを知りました。今後、このような機会を得て学んだことを生かせるように、自分なりにできる活動を考えていきたいです。

留学中に私の大きな支えとなったのはホストファミリーです。初日、家に入ると家族の写真が壁や机、棚の上に置かれていて愛であふれている家族だと思いました。ファミリーのみんなはとても優しく、気配りが上手でした。私が分からない単語を聞くと簡単な英語で説明してくれました。また、ショッピングや観光名所などいろんなところに連れて行ってもらいました。私が一番嬉しかったことは、ホストマザーがかけてくれた言葉です。家族と思い出話をしていたとき、「あなたは素晴らしい交換留学生よ。あなたが交換留学生で私達は幸せよ。」と言ってくれました。この時、私も同じことを思い、日本に帰りたくないと思いました。本当の家族のように接してくれてとても嬉しかったです。しかし、私の語彙力がないためにこの嬉しさを十分に伝えることができませんでした。同じ単語しか出てこず、もどかしい気持ちでした。

私はこの留学で多くの貴重な経験をし、多くのことを学びました。また、将来の夢について深く考える機会にもなりました。もう一度アデレードを訪れるときは今より英語を上達させ、ホストファミリーに感謝の気持ちを伝えたいです。